

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	日本語Ⅱ-1 (JapaneseⅡ-1)					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型 AL
	2011-0-21-020	教養(留学 生科目)	必修	1単位	2年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型 AL
	2411-0-21-018	教養(留学 生科目)	必修	1単位	2年次	前期		

① 授業のねらい・概要						
4技能(読む、書く、聞く、話す)を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験(JLPT)N2またはN1に合格することを目指す。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
職業人として通用する能力、コミュニケーション能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認 ^か を兼ねた小テストを行う。宿題になることもある。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
日本事情1、日本事情2、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2を履修しておくことが望ましい。						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
渡辺真由子監修(2019)『1回で合格!日本語能力試験N2 読解』ナツメ社						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
友松悦子他(2010年)『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク 佐々木瑞枝他(2006年)『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times 二通信子、佐藤不二子(2020年)『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク 日本語能力試験問題研究会(2011年)『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会 田代ひとみ他(2011年)『新完全マスター読解 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも勉強してください。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 授業でやった範囲内のN2レベルの読解の問題で、90%以上得点できた。 (2) テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。 (3) テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る800~1000字の文章が書けた。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	日本語能力試験(JLPT)N2レベルの読解の問題が解ける。	授業でやった範囲を超えて、N2レベルの読解の問題で80%以上得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの読解の問題で、90%以上得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの読解の問題で、75~89%得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの読解の問題で、60~74%得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの読解の問題で、60%以上得点できなかった。

(2)	身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかった。
(3)	身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおそ意味の通る 1000 字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおそ意味の通る 800~1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 800~1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る 600~800 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックではおおよそ意味の通る 600 字以上の文章が書けなかった。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%	15%	15%		100%
(1) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの読解の問題が解ける。	45%	10%			10%		65%
(2) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。				15%	5%		20%
(3) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。			15%				15%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	課題は添削して返す。小テストは採点して返す。						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）
1	オリエンテーション、自己紹介、授業の注意点の説明	自己紹介の準備をしておく。 60分
2	テキスト第1章 1 指示語	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
3	テキスト第1章 2 接続後	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
4	テキスト第1章 3 因果関係をとらえる	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
5	テキスト第1章 4 言い換えに着目する	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
6	ミニスピーチ1、文字・語彙・漢字1	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
7	テキスト第1章 5 キーワードをつかむ	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
8	テキスト第1章 6 理由を確認する	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
9	テキスト第1章 7 対比、比喩をおさえる	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
10	テキスト第1章 8 二つの文章を比較する	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
11	テキスト第1章 9 演習問題	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分
12	ミニスピーチ2、文字・語彙・漢字2	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 60分

13	テキスト第2章 1段落の関係からおさえる	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
14	テキスト第2章 2概要をおさえる	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
15	テキスト第2章 3筆者の主張	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	60分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性